平成29年7月1日発行

清涼 せいりょう

第8号

浄土真宗　本願寺派
清涼山　善教寺
〒663-8184　西宮市鳴尾町 4-10-7
0798(48)2224
www.zenkyoji.jp

※寺報の題字は親鸞聖人のご真筆より依用

つながる世界

「見えない世界なんて信じられない」、「人間死んだら終わりじゃないか」、そんなことを仰る方がいらっしゃるかもしれません。しかし本当にそうでしょうか。

昨年（二〇一六）の三月十日、NHKスペシャル「風の電話～残された人々の声～」という番組が放映されました。東日本大震災で大きな被害をうけた岩手県大槌町の、海を見下ろす高台に、「風の電話」と名付けられた一台の電話ボックスが設置されています。震災で会えなくなった家族や友人と、もう一度言葉を交わしたいと願う人々がここを訪ね、電話線のつながっていない受話器を通して会話をする、それが「風の電話」です。

「父さんが死んだ時は、本当にどうしたらいいのかって分かんなかったけど、なんとか今まで生きてきました」

「返事が聞きたいのに聞こえない。ごめん、助けてあげられなくて、ほんとにごめん」

「風の電話」の線はどこにもつながってはいません。そこに何も見えません。けれど私たちはその見えない線を通して、大切な人とつながっていこうとする、そんな想いを抱いて生きているのではないでしょうか。「風の電話」にささやかれる一人ひとりの心の「声」に、つよく心を揺さぶられたことでした。

お浄土の世界も私には見ることは出来ません。けれどお浄土は私を支える世界として、今ここに、はたらいてくださっています。そしてお浄土を通して大切な方々とつながっていく、そんなあたたかな世界のあることに気付かせていただきます。

あるご門徒のおばあさんのお葬儀でした。お棺に入られたおばあさんに向かって、小さなお孫さんが涙を流しながら声をあげられました。

「おばあちゃん消えちゃうの、いなくなっちゃうの、もう会えないの？」

その声を聞かれたお母さんが、わが子を抱きかかえながら仰います。

「おばあちゃん消えちゃいないよ。仏さまとなって、ずっとあなたと一緒だから。お浄土がある。おばあちゃんとまた会えるよ」

阿弥陀さまに抱かれ、お浄土へ往き生まれていかれた方は、「南無阿弥陀仏」の仏さまと一つとなって、私のもとへ還ってきてくださっています。私の今と、確かにつながっているのです。

「今日もあなたと一緒だよ。必ずお浄土で会おう」。大切な方の願いに抱かれ、お浄土に支えられながら今を生きていく時、孤独のない安心の人生が私に開かれていくのです。

副住職　釋 智顕

ご家庭で回覧し、とじて保存くだされば幸いです。

月例法座（げつれいほうざ）

平成28年7月9日

宏林晃信師をお迎えして、ご法話を聞かせていただきました。

お盆法要（歓喜会（かんぎえ））

平成28年8月6日・7日

浄土真宗のお盆は、仏さまと成られた亡き方を偲びながら仏法（仏さまの教え）を聞かせていただく「いのちの日」です。今年も私の「いのち」の往き先、そして今は亡き懐かしい大切な方々がいらっしゃる「お浄土」のお話を聞かせていただきました。

お暑い中、2日間・計4座（回）の法要に、400名を超える多くの方々のお参りをいただきました。

1日目

谷川 弘顕師のご法話

2日目

足利 孝之師のご法話

準備

みなさんありがとうございました。

本年もご門徒の
西野陽子様（里中町）より、
参詣者のみなさまへ、
「御供養450個」を
お供えしていただきました。
ありがとうございました。

住職より挨拶

鳴尾町4丁目 ラジオ体操

毎年、夏休みに町内のみなさんが
お寺の境内にラジオ体操にきてくださいます。
早朝より音楽にあわせ、みんなで体を動かしイッチニ、イッチニ。
この時期になると夏休みももうすぐ終わり。
今年の夏も暑かったですね。

秋季彼岸会

平成28年9月17日

貴島信行師をお迎えし、ご法話を聞かせていただきました。「彼岸（かの岸）」とは、仏さまのさとりの世界である「浄土」を意味する言葉です。

お念仏の道は、お浄土へと続くただひとすじの道です。

月例法座

平成28年10月10日

和氣秀剛師をお迎えして、ご法話を聞かせていただきました。

浄土真宗Q&A

浄土真宗のお寺には、お守りはないのですか？

お守りは多くの寺社で参詣者に販売や授与されているので、浄土真宗のお寺でも取り扱っていると考えている方もいらっしゃることでしょう。しかし浄土真宗のお寺では、お守りを扱うことはありません。浄土真宗の宗祖親鸞聖人は、「現世祈祷にたよらない」という教えを説かれているからです。お守りには、商売繁盛、家内安全、無病息災、恋愛や学業の成就、合格祈願、交通安全など、さまざまなものがあります。「よいことがあるように」、あるいは「悪いことがおきないように」といった願いが込められています。

しかしよく考えてみますと、私たちの願いは、自分自身の欲望を満足させることにつながっています。私たちの欲望は尽きることがありませんので、願いがどれだけ叶ったとしても満足することはなく、逆に願いが叶わなければ、「これほど祈っているのに」と、ますます苦しむことになります。

このような欲望の心を持ち合せている私たちこそ救わずにはおられないと願われているのが、阿弥陀如来です。願うのではなく「阿弥陀如来に願われている」、お守りに頼るのではなく「阿弥陀如来に護られている」という教えが浄土真宗なのです。

前田壽雄著『仏事Q&A　浄土真宗本願寺派』（国書刊行会）16～17頁引用

報恩講

平成28年11月5日・6日

報恩講はご開山・親鸞聖人のご命日の法要です。親鸞聖人のご恩徳を偲びながら、お念仏の教えを聞かせていただく、浄土真宗のお寺で最も大切な法要です。

2日間・計2座(回)の法要に、200名を越えるたくさんのお参りをいただき、お念仏のひと時を過ごしました。

1日目　淺田 恵真和上のご法話

2日目　天岸 浄圓師のご法話

善教寺パドマ合唱団による御堂演奏

キョウコ エ ユウコと善教寺パドマ合唱団のみなさん

準備

みなさんに報恩講の
準備をお手伝い
いただきました。
ありがとうございました。

こども報恩講

平成28年11月6日

今年の「こども報恩講」は、仏さまの教えをテーマにしたショーを全国各地で行っている、ジッセンジャーをお呼びして、楽しいヒーローショーをみせていただきました。

たくさんのお子さん方がお参りしてくださいました。

月例法座

平成28年12月4日

弘山光称師をお迎えして、ご法話を聞かせていただきました。

元旦会

平成29年1月1日

今年もご門徒のみなさんと新年を迎えさせていただきました。住職・副住職の法話に始まり、最後はお参りのみなさんと一緒に、お正月の歌をうたいました♪

涅槃会

平成29年2月11日

堀隆史師をお迎えして、ご法話を聞かせていただきました。涅槃会は2月15日にご入滅されたお釈迦さまをお偲びし、仏法を聞かせていただく法要です。

春季彼岸会

平成29年3月19日

若林眞人師をお迎えし、ご法話を聞かせていただきました。いまここで仏法を聞き、「彼岸（浄土）」への人生を歩いているからこそ、先立って往かれた方々と、必ずお浄土で再会することができるのです。

平成29年 4月8日

花まつり

花まつりは4月8日に生まれられたお釈迦さまのご誕生をお祝いする、仏教徒にとって大切な法要です。藤榮行信師よりご法話を聞かせていただきました。

平成29年 5月13日

宗祖降誕会（しゅうそごうたんえ）

降誕会は5月21日にお生まれになられた、ご開山・親鸞聖人のご誕生をお祝いし、お礼を申し上げる法要です。宏林晃信師をご講師にお迎えし、お聴聞させていただきました。

平成29年 6月17日

永代経法要（えいたいきょうほうよう）

清岡隆文師をお迎えし、ご法話を聞かせていただきました。

永代経法要の「永代経」とは「永代読経」の略で、浄土真宗のみ教えが「永代」にわたって読み続けられていくように、との願いから営み、仏法（仏さまの教え）を聞かせていただく法要です。

今年もたくさんのお参りをいただきました。

みなさんにお手伝いいただきました。
ありがとうございました。

熊本地震　義援金募金

みなさまよりお預かりしました募金5万1290円を、「熊本地震義援金」としまして、本願寺へ届けさせていただきました。

心温まるご協力、ありがとうございました。

平成29年 3月11日

伝灯奉告法要 善教寺団体参拝

専如ご門主の伝灯奉告法要が、昨年10月1日から5月31日まで10期80日間（1日1座）つとめられました。

80座の参拝者総数は延べ15万4015人にのぼり、国内はもとより、世界各地からの参拝者が、ご門主とともにみ教えに生きていくことを誓いました。

また、「浄土真宗に触れていない人にご縁を」とライトアップなどの協賛行事も多種にわたって行われ、伝灯奉告法要を縁とした本願寺への総来山者数は延べ45万4996人を数えました。ご満座（最終日）の5月31日は、御影堂と阿弥陀堂から参拝者があふれ、2500人が法要の後に、ご門主のご消息をいただきました。

（「本願寺新報」2017年6月10日号より）

善教寺も3月11日に、ご門徒の皆さまがた総勢約45名で、伝灯奉告法要へ団体参拝に行ってまいりました。ご開山・親鸞聖人をはじめ、今日まで浄土真宗の教えをお伝えくださった、先人の方々のご苦労を共に偲ばせていただく尊いご縁となりました。

また当日は真宗十派の一つである、真宗仏光寺派の本山・「仏光寺」へも参拝し、お念仏のこころを味わう得難い機会となりました。

善教寺仏教壮年会・婦人会への加入はいつでも募集中です。
ご連絡をお持ちしています。
仏さまのご縁で結ばれた皆さんと、楽しい時間を過ごされませんか？

コーラス団員募集中！

善教寺パドマ合唱団

毎月2回・木曜日の14時から
コーラスの練習をしています。
男性・女性、どなた様でも
入団をお待ちしています。
歌うことは健康には勿論のこと、
仏教讃歌は歌詞もメロディーもとっても
素晴らしいので心の健康にも良いですよ♪

コーラスの指導を
してくださっている東埜裕子先生

平成28年 11月17日 本願寺・秋の御堂演奏会

毎年恒例の本願寺・秋の御堂演奏会に、今年もパドマ合唱団のみなさんが出演されました。

平成28年 12月23日 善教寺パドマ合唱団忘年会

合唱団のみなさんと年末恒例の忘年会を開催しました。ビンゴゲームや食事をして楽しく過ごしました。みなさん、今年も一年、本当にお疲れさまでした♪

お寺の風景

鳴尾の綿

明治期に鳴尾全村で
栽培され、全国的に
有名だった鳴尾綿。
お寺の境内では
今では珍しくなった
鳴尾綿の姿が見られます。

聖典勉強会

毎月6日・14時～

副住職が『歎異抄』をみなさんと一緒に学んでいます。
どなたさまもどうぞお気軽にお越しください。

NHK文化センター（神戸教室）へも、
「『歎異抄』に聞く～親鸞聖人の歩まれた道～」
と題して、月一回（毎月・第4金曜日）出講しています。
ご興味のある方はいつでもご連絡ください。
http://www.nhk-cul.co.jp/school/kobe/